

科目ナンバリング		U-LAS23 20001 SO48										
授業科目名 <英訳>		中国語IIA [文法・文化理解] C202 Intermediate Chinese A [Grammar, Cross-cultural understanding]					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 松江 崇			
群	外国語科目群				分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)			
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月4			配当学年	2回生以上		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]												
本授業は中国語の文法項目の習得並びに古代中国文化の理解を中心とする。唐詩の現代中国語訳文、唐詩に関する解説文、古代日中交流に関する対話文を読解することにより、初級中国語で学んだ語彙・文法・発音についての基礎知識を確認しつつ、中国語による表現のために不可欠な文法事項を習得することを目的とする。併せて、唐代の漢詩を中心とする、古代中国の文化に関する基礎知識を身につけることをも意図している。												
[到達目標]												
中国語で自分の主張・見解を表現するために必要不可欠な文法事項を習得し、受講者自身の主張・見解を中国語で表現できるようになる。また唐代の文学・古代日中文化交流に関する基礎的な事項を理解し、中国の言語・文化に対する理解を深める。												
[授業計画と内容]												
この授業はフィードバック(方法は別途連絡)を含む全15回で行う。唐詩の現代中国語訳ならびに古代中国文化に関わる対話文・解説文を内容とする教員が作成したテキスト(原則としてピンイン付き)に基づき、受講者が毎回決められた範囲について予習を行い、授業中に日本語訳を発表するかたちで授業を進める(担当箇所の音読も求められる)。教員は、テキストにみえる文法事項(常用語彙項目も含む)についての詳しい解説を行うと同時に、それらを実際に用いた中国語表現の具体例を紹介していく。受講者は、課題として、学習した文法事項を用いた作文を提出することも求められる。さらに、授業では唐詩の原文・文化背景についての補足説明(原文の言語表現の特徴や古代の漢字音についての説明を含む)をも行っていく。具体的な授業計画は以下のようである。												
第1回：中国語の文法体系概説												
第2回：中唐・晩唐詩(1)：杜牧「江南春絶句」等の講読												
第3回：中唐・晩唐詩(2)：杜牧「清明」等の講読												
第4回：中唐・晩唐詩(3)：李商隠「楽遊原」等の講読												
第5回：中唐・晩唐詩(4)：李商隠「夜雨寄北」等の講読												
第6回：中唐・晩唐詩(5)：柳宗元詩「江雪」等の講読												
第7回：「唐詩についての解説文」講読(1)												
第8回：「唐詩についての解説文」講読(2)												
第9回：初唐・盛唐詩(1)：李白「静夜思」等の講読												
第10回：初唐・盛唐詩(2)：李白「送友人」等の講読												
第11回：「遣唐使の中国語についての対話文」講読(1)												
第12回：「遣唐使の中国語についての対話文」講読(2)												
第13回：初唐・盛唐詩(3) 杜甫「江南逢李龜年」等の講読												
第14回：初唐・盛唐詩(4) 王維「鹿柴」等講読												
《期末試験》												
第15回：フィードバック												
-----中国語IIA [文法・文化理解] C202(2)へ続く↓↓↓-----												

中国語ⅡA [文法・文化理解] C202(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

原則として期末試験70点、平常点30点で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。平常点については、出席状況および予習状況の評価・提出課題の評価に基づく。期末試験は、主としてテキストの日本語訳の正確性（聞き取った中国語の日本語訳も含む）および文法事項（語彙項目を含む）の理解、古代中国文化の理解を問うものとする。

[教科書]

プリント（教員の作成したテキスト）を配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

必ず毎回決められた範囲を予習（日本語訳作成・発音練習）して出席すること。指定された課題を期日内に提出すること。

[その他（オフィスアワー等）]

毎回の授業に必ず中日辞典を携帯すること。
教員への連絡は、原則としてメールにしてください。

[主要授業科目（学部・学科名）]